

令和7年第1回定例会

## 一般質問通告一覧表

令和7年3月5日

通告順	質問議員	質問事項	時間	備考
1	9番 松田 悦郎	① 旧うなばら荘譲渡の経緯は ② 海浜運動公園再整備の方向性は	40分	午前9:00 ～9:40
2	1番 斉田 光門	① 副村長の選任を早急に ② 高齢化対策の現況は	60分	午前9:40 ～10:40
休憩(15分)				
3	4番 長谷川 康弘	① 海浜エリアの活性化の今後は ② ふるさと納税の課題と今後は	40分	午前10:55 ～11:35
4	6番 石原 浩明	① 健康寿命をアップする取組みを	30分	午前11:35 ～午後0:05
昼食				
5	5番 前田 昇	① 海浜運動公園整備計画について ② ふるさと納税活用への村民参画	80分	午後1:00 ～2:20
休憩(15分)				
6	3番 江田 加代	① 在宅介護に行政支援を ② 奨学金制度の充実を	60分	午後2:35 ～3:35
7	7番 河中 博子	① 活性化で新たな魅力ある村へ	40分	午後3:35 ～4:15

## 一般質問通告書

## 1. 松田悦郎議員（9番）

（通告予定時間 40分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
① 旧うなばら荘譲渡の経緯は	<p>うなばら荘の閉館から3年前に、旧うなばら荘を民間企業に譲渡し、活用する道筋が見える状況となった。</p> <p>ここまで多くの村民は、荒れた旧うなばら荘はどうなるのか、早急に更地返還をさせるべきだ、日帰り入浴はいつからできるのか、など心配する声が多かった。</p> <p>譲渡の道筋ができるまでには、多くの苦労があったと思うが、今回の譲渡までの経緯と、譲渡先となる民間業者についてを伺う。</p>	村長
② 海浜運動公園再整備の方向性は	<p>村民の中で特に児童を持つ保護者が、遊戯場整備を望んでいる海浜運動公園エリアの活性化計画について、令和7年度からのスケジュールと再整備の計画について考え伺う。</p>	村長

一般質問通告書

2. 齊田光門議員（1番）

（通告予定時間 60分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
① 副村長の選任を早急に	<p>行政運営・行政サービス等急速に村民に対応する必要性が重要視される。</p> <p>現在、村長は事業の助成金確保や提案依頼など東京出張などが増加、公務多忙な村長の相談役、各課長に対する対応や指導の敏速性等、副村長選任は村長とのパイプ役として、余裕のある村長の村政対応を実行することが可能となる。今年3月末に定年退職する課長もいます、大変な人事編成が余儀なくされる。</p> <p>更に、現況、海浜公園の再整備、旧うなばら荘の案件など打開策として必要不可欠な人材である。昨年9月、副村長選任は組織全体を考え必要性を検討するとの答弁でしたが、今まさに、必要とするタイミングである。</p> <p>①副村長選任の環境づくりを                  ②副村長の役割や人物像（村内外など）は                  ③来年度の採用予定は。また、退職者の再任用の状況は                  ④人事評価は職員を育成するための制度になっているか</p>	村長
② 高齢化対策の現況は	<p>村内も核家族化が急速に進み、親子や孫と暮らす多数世代の世帯は大幅な減少、夫婦二人や高齢者の単身世帯が増加傾向、気が付けば近所にこどもの姿を見ない、隣近所高齢者（65歳以上）ばかりで一人暮らしの高齢者が増加し、人の姿さえ見えない状況にある。「ひとりぼっち」をつくらない環境づくりが必要とされる。</p> <p>コロナ禍の状況も治まる状況にあるが？</p> <p>①村内高齢者からは「日吉津村はこどものことばかりで、高齢者になにもしてくれん」といった声もある。</p> <p>令和7年度当初予算の配分比率は</p> <p>②行政による見守りサービスの現況と活動強化</p>	村長

	<p>コロナ禍や個人情報の関係もあり、民生児童委員、社協の職員や福祉推進委員の訪問活動がされていない状況である。</p> <p>③地域包括センターの活用状況は</p> <p>④介護（介護予防）サービスの活用状況は</p> <p>村サービスセンターの利用者が減少し、赤字経営となり、利用者を増加させるべき利用推進や情報提供が必要。</p>	
--	--	--

一般質問通告書

3. 長谷川康弘議員（4番）

（通告予定時間 40分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
① 海浜エリアの活性化の今後は	<p>海浜運動公園の再整備については、1月に進捗状況について説明を受けた。整備内容も確定ではないとしながらも、細かく案が計画されていたが、令和6年度のスケジュールに上がっていた、国の整備補助金申請、実施方針策定、公募資料作成等の進捗はいかにか伺う。</p> <p>また、旧うなばら荘についても、ヤードクリエーションからの第三者譲渡も見込みが出てきており、明るい兆しが見えることは喜ばしいことである。正式契約に至ることが望まれるが、正式契約となれば海浜エリアの一部として、何か村としても海浜エリアの活性化に結び付けることを考えているか伺う。</p>	村長
② ふるさと納税の課題と今後は	<p>ふるさと納税の額は以前より少なくなっている。返礼品の基準も変わり、小さい村には厳しい状況だと思う。</p> <p>近年のふるさと納税の金額、件数などの推移を含め今後の取り組みについて伺う。</p> <p>また、ふるさと納税事業者説明会の状況も伺う。</p>	村長

一般質問通告書

4. 石原浩明議員（6番）

（通告予定時間 30分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
① 健康寿命をアップして、住み続けたい村に	<p>本年は、団塊世代が75歳以上になり社会急増する「2025年問題」と言われる年である。健康上あまり問題なく生活できる健康寿命は、鳥取県民の女性が全国ワースト7位、男性がワースト3位となっている。そこで介護一步手前のフレイルを予防する取り組みが進められている。日吉津村が、「住み続けたい村」になるためにも、また増え続ける医療費・介護費などの社会保障費を抑えるためにも高齢者の健康寿命を伸ばすことは欠かせない。本村の取り組みについて伺う。</p> <p>①本村の高齢化率と、わかれば健康寿命は</p> <p>②運動・栄養・社会参加に加え鳥取県では健康増進をフレイル対策としてすすめているが本村の取り組みは</p> <p>③認知症予防など社会的フレイル対策は</p> <p>④社会参加を進めるための老人会などの取り組みは</p>	村長

一 般 質 問 通 告 書

5. 前田昇議員（5番）

（通告予定時間 80分）

質 問 事 項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
① 海浜運動公園整備計画について	<p>海浜運動公園の整備に向けて、その素案が示されているが、令和7年度・8年度と相当多額の予算を投入する計画、さらに、民間事業者と連携を深め、今後の維持管理には「指定管理者制度」等の導入が見込まれている。その状況・今後の方針について問う。</p> <p>①海浜運動公園の現状はいかに (村内外の月毎・年間利用者数と、管理運営に要した予算・収益について資料提供を)</p> <p>②海浜エリア活性化計画における、エリア全体の整備方針は、いかに。</p> <p>③海浜運動公園の整備及び管理運営における民間事業者との連携、契約等の手順は、どのように計画されているか。(タイムスケジュールを含めて提示されたい。)</p> <p>④素案に対する村民からの意見はどうか。また、今後どのように情報提供し、幅広い意見を聴取し、参画を得ていくか。</p> <p>令和8年度の整備に向けた検討状況と、「屋内遊戯場」の規模・内容について、提示されたい。</p>	村長
② ふるさと納税活用への村民参画	<p>コロナ後のむらづくりやコミュニティづくり、さらにはシティプロモーションに向けて村民の参画がより求められている。また、第7次総合計画の中間見直しなど、村民の参画をより広く掘り起こすために、ふるさと納税の用途について村民の参画の場を設けられたい。</p> <p>①予算編成あるいは決算にあたり、基金の用途について、村民の意見の反映やチェックをどのようにされているか。</p> <p>②基金の活用について、広く村民からの提案制度を設けられないか。</p> <p>③日吉津村への納税を喚起するために、村民や村出身者へのPRの徹底を。</p> <p>④ふるさと納税のPR、さらには、むらづくりの推進や関係人口の拡大のために、SNSの活用をいかにすすめるか。</p>	村長

一 般 質 問 通 告 書

6. 江田加代議員（3番）

（通告予定時間 60分）

質 問 事 項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
① 在宅介護に行政支援を	<p>本来福祉でやるべき高齢者の介護が長期にわたって医療保険の給付対象になっていた。医療保険の財源が溢れてきたことで、高齢者福祉からも「介護」を引き出し、「家族任せにしない介護の社会化」の象徴として歓迎され、2000年に介護保険制度がスタートした。</p> <p>南部箕蚊屋広域連合介護保険条例第3条の基本理念には「すべて被保険者は、個人としてその尊厳が重んじられ、その家族の有無、介護を必要とする状態の程度その社会的、経済的身体的また精神的状態にかかわらず、その尊厳にふさわしい自立した日常生活を営むことができるよう、介護サービスを利用する権利を有するものとする」と規定されている。</p> <p>介護保険が導入されて25年、現在、第九期の事業計画進行中である。保険料は年金から確実に天引きされるものの、制度見直しの度に理念から遠ざかり、第三期介護保険事業計画では理念が消えた。国が示してくるのは「財政的持続可能性」を念頭に置いた構想で、利用者や介護している家族、介護報酬が削られる度にサービスの質を落とさざるを得ない介護事業者の苦労を真剣に検討されたとは思えない。</p> <p>このままでは「在宅介護」を支えるための介護保険でなくなることは目に見えている。在宅介護に行政の支援を求め、以下の点について質問する。</p> <p>①「給付抑制」と「利用者の負担を増やす」財政的持続可能な制度が目的だとすれば、高齢者の願いに沿ったケアは望めない、村独自の在宅介護の支援が必要と考えるが。</p> <p>②令和5年度の日吉津村の要介護認定率は16.9%、高齢者福祉を介護保険の中に投げ込んだ上に保険料を年金から天引きされている、83%の介護保険を利用していない高齢者の生活全体が見えにくくなり、実態に合わない負担を強いているのではないか。</p>	村長
② 奨学金制度の充実を	親の所得状況で子どもが進学を諦めることがないように村独自の奨学金制度の充実を求める。	教育長

## 一般質問通告書

7. 河中博子議員（7番）

（通告予定時間 40分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
② 活性化で新たな魅力ある村へ	<p>431号沿道の開発に続いて、いよいよ海岸エリアの整備・活性化が始まろうとしている。村民にとって待ちに待った活性化事業である。海浜運動公園内の整備は、立地を活かしたかなり大掛かりな構想になっており、日吉津村の新しい顔になるであろうし、またそうでなくてはならない。海岸エリアのもう一つの心配の種であった旧うなばら荘も、海・山・川の三拍子そろった日吉津村の自然環境を取り込んだ施設として、スタートするようである。</p> <p>開発は、時代とともに行われることはいたし方ないが、村民にとって暮らしやすくなるようなものでありたい。村内の交通量と人が急増するだけで、そこで暮らす人々にとって何の関係もないような開発では魅力がない。</p> <p>また海岸エリアだけではなく、村全体が活性化する開発であるべきだ。</p> <p>それには、関係人口を含め様々なノウハウを活用する組織を見直し、例えば保育園留学や村づくりのための人材育成など、更なる日吉津村のレベルアップを図りたい。</p> <p>子どもから高齢者まで、誰もが豊かに暮らせる新たな村づくりの展望について問う。</p>	村長